

施策評価シート（令和4年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域で支えあう体制の構築	評価者	健康福祉部長
----	--------------	-----	--------

施策内容	人口減少・少子高齢化の進展により、地域本来の支えあい機能が薄れる中、社会的弱者となりうる高齢者や障がい者が健やかに地域で自立した生活を送れるよう、多世代がかかわることで、地域で支えあう体制を構築します。		
------	---	--	--

主な事業	予算等事業名	行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
	1	地域介護予防活動支援事業	適当	有効だった
2	生活支援体制整備事業	適当	有効だった	地域の支え合いを進めるため、みまもりガイドを作成した。
3	認知症総合支援事業	適当	有効だった	認知症サポーター養成講座や認知症講演会を開催した。
4	在宅障がい者援護事業	良好	有効とは言えない	コロナ禍により、手話講習会を縮小して実施した。

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の通いの場の参加者（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	13,617 (7,000) ※（ ）はコロナ想定	3,500	5,000	7,500	A
	実績		2,253	4,033	7,801	
	分析	通いの場の開催が徐々に安定してきており、計画値を上回った。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案	-		

重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	65歳以上の要介護認定者の割合				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	17.6	16.0	16.1	16.7	B
	実績		16.7	17.1	17.7	
	分析	現在の指標では施策の進捗が測れないため、次期計画では指標を見直す。				
方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案	【削除】			

重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	109	30	200	200	A
	実績		35	552	327	
	分析	認知症サポーター養成講座の拡大により、計画値を上回っている。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案	-			

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	手話通訳者養成講習会の参加者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	22(10) ※（ ）はコロナ想定	16	18	20	D
	実績		コロナに伴い中止	7	6	
	分析	関連する主な事業との関連性が低いいため、次期計画では指標を見直す。				
方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案	【削除】			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の通いの場は一部中止はあったものの、多くの会場で通年開催することができた。 ・みまもりガイドの作成や、シルバー緊急通報システムの改善など、ソフト、ハードの両面から地域の支え合いや見守り体制の強化を進めた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢化が進む中で、地域における見守りや支援を更に進める必要がある。 ②高齢者のみや単身の世帯において、ゴミ出しや買い物など日常生活の支援が必要になってきている。 			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①お互いさまの見守り合いをはじめ、災害時の個別避難計画など、地域における支え合いを推進する。 ②生活支援について、福祉部門だけでなく関係部署とも連携し検討を進める。 			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、様々な取り組みの成果が出ている点は評価できる。 ・個人情報の取り扱いもあるため、地域における独居高齢者の支援は難しく、民生委員・児童委員の負担になっているのではないかと。 ・地域で支え合う体制の構築という施策は重要であり、継続して実施していく必要がある。また、認知症予防や高齢者を社会で活用していく事業は、重点的に取り組んでいく必要がある。 ・地域本来の支え合い機能が薄れる中、新しいシステムでコミュニティ組織を強化するとともに、伝統的なコミュニティシステムの見直しと活用を考える必要がある。 ・KPI②「65歳以上の要介護認定者の割合」が削除されると、アウトカム指標がなくなってしまう。同じく削除する予定のKPI④「手話通訳者養成講習会の参加者数」と合わせ、より施策の成果を測定できるKPIの設定を工夫するべきである。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各事業の 今後の方向性	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
1	地域介護予防活動支援事業 (担当課：高齢介護課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、高齢者のフレイル予防や、孤立防止のため、地域の通いの場について、町広報紙等で啓発するとともに、担い手の確保に向けた取り組みを実施する。 	
2	生活支援体制整備事業 (担当課：高齢介護課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いさま推進協議会による支援方法の検討等により、地域コミュニティによる支え合いの強化を図る。 ・関係各課との連携により、個別避難計画の策定等を進め、生活支援体制の強化を図る。 	
3	認知症総合支援事業 (担当課：高齢介護課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きサポーター養成講座をはじめとした、認知症の理解に繋げる啓発活動を実施する。 	
4	在宅障がい者援護事業 (担当課：福祉保険課)	現状維持	見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・施策との関連性が低いため、次期計画において位置づけを見直す。 	